

20文科ス第765号
平成20年11月6日

各都道府県・指定都市教育委員会教育長
各 国 公 私 立 大 学 長
各 国 公 私 立 短 期 大 学 長
各 国 公 私 立 大 学 短 期 大 学 部 学 部 長 殿
体 育 ・ ス ポ ー ツ 関 係 団 体 の 長
各 都 道 府 県 体 育 協 会 会 長
各 都 道 府 県 中 学 校 ・ 高 等 学 校 体 育 連 盟 会 長

文部科学省スポーツ・青少年局長
山 中 伸



(印影印刷)

平成20年度スポーツコーチサミットの開催について（依頼）

文部科学省では、我が国の国際競技力の向上を図るため、別添要項によりスポーツコーチサミットを開催することになりました。

については、貴所属及び管内・加盟の競技力向上及びスポーツ科学・医学・情報関係者の参加についてよろしくお取り計らい願います。

本件担当 競技スポーツ課
TEL:03-6734-2999(ダイヤルイン)



平成20年度 スポーツコーチサミット開催要項

1 開催趣旨

我が国の国際競技力向上を図るため、競技者の育成・強化に当たるコーチ、スポーツ医・科学研究者及び各都道府県のスポーツ行政担当者等が一堂に会し、それぞれの分野における成果や諸課題について研究協議や情報交換を行うとともに、本サミットを通じて相互の理解と連携を深める。

2 主催

文部科学省
 スポーツコーチサミット実行委員会
 (独)日本スポーツ振興センター
 (財)日本体育協会
 (財)日本オリンピック委員会
 (財)日本プロスポーツ協会
 (財)日本アンチ・ドーピング機構

3 協賛

(財)ミズノスポーツ振興会

4 協力

日本テレビ放送網株式会社

5 期日

平成20年12月4日(木)・5日(金)

6 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター
 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL:03-3467-7201

7 日程

12月4日(木) 第1日目 カルチャー棟大ホール・国際交流棟レプションホール

| | | | | | | | | | | |
|----|-------|----------------|--------------|-------|--------------|-------|-----------------|-------|--------|---------------|
| | 10:30 | 10:50～ | 11:00～ | 11:45 | 13:15～ | 14:00 | 14:10～ | 15:50 | 16:00～ | 17:30 |
| 内容 | 受付 | オープニング (10) | 特別講演 (45) | 昼食 | 基調講演 (45) | 休憩 | シンポジウム (100) | 解散・移動 | | 情報交換会 (90) |

12月5日(金) 第2日目 国際交流・カルチャー棟 各室

| | | | | | | | | | | |
|----|------|--------------|---|-------|-------|---|-------|-------|---|-----------------------------|
| | 9:30 | 10:00 | ～ | 13:00 | 13:00 | ～ | 14:45 | 15:00 | ～ | 17:00 |
| 内容 | 受付 | 分科会 (180) | | 各自昼食 | 各自移動 | | | | | N T C 見学会 (120) |

8 内 容

12月4日(木)第1日目 カルチャー棟/大ホール

(1) オープニング

(2) 特別講演

演題 「Play True」(仮題)

講師 ジョン・フェイヒー 世界ドーピング防止機構(WADA)会長

趣 旨

本特別講演では、世界ドーピング防止機構(WADA)会長のジョン・フェイヒー氏より「今後のドーピング防止活動」についてお話しいただく。

オリンピックにおいて、世界各国がメダル獲得を目指し、国際競技力の強化にしのぎを削る中、世界のドーピング防止活動を推進する立場から、国際競技力の向上とドーピングについて、またドーピングがもたらすスポーツの将来に対する影響についてお話しいただく。

(3) 基調講演

演題 「北京オリンピックにおける金メダル獲得戦略」(仮題)

講師 斎藤 春香 北京オリンピックソフトボール日本代表監督

趣 旨

北京オリンピックにおいて日本は、アテネオリンピックに次ぐ金メダル9個を獲得した。ソフトボール競技で見事金メダルを獲得されたソフトボールチームの監督(指導者)として、采配を振るわれた斎藤監督に北京に向けた準備、大会での取組や勝因を振り返っていただき、今後、我が国の競技力を向上させるためにはどのような取組をすべきか、特に団体スポーツの観点から国際競技力の向上方策についてお話しいただく。

(4) シンポジウム

テーマ 「国際舞台で活躍するために」

趣 旨

2016年の東京オリンピック招致、2010年に開催されるユースオリンピックなど、北京オリンピック後、新たな世界の動向に対応した国際競技力の向上方策が求められる中、今後、一貫指導におけるジュニア世代からの効果的な育成・強化方策が大きなウェイトを占めていく。

本シンポジウムでは、北京オリンピックに向けて行われた競技団体の取組、ナショナルトレーニングセンター(NTC)や地域での競技者育成の取組に焦点を当て、我が国の競技者が今後、オリンピック等の国際競技大会で活躍するためのシナリオを幅広い角度から考察していく。

コーディネーター 山本 浩 NHK解説副委員長

シンポジスト 久世由美子 北京オリンピック水泳競技日本代表コーチ

杉田 正明 (財)日本オリンピック委員会NTC本部JOC拠点
ネットワーク・情報戦略事業ディレクター

張西 厚志 (社)日本フェンシング協会専務理事

三ヶ田礼一 (財)岩手県体育協会特別指導員

(5) 情報交換会 国際交流棟レプションホール

12月5日(金)第2日目

国際交流棟・カルチャー棟 各室

(1) 分科会

●第1分科会(カルチャー棟/小ホール) 【 JOC・日体協 】

テーマ 「北京からロンドンへ」

趣 旨

スポーツ界の悲願であったナショナルトレーニングセンター(NTC)が、北京オリンピック開催前に本格始動し、併せてJOCスポーツアカデミー事業(ナショナルコーチアカデミー・エリートアカデミー・キャリアアカデミー)がスタートした。我が国のさらなる競技力向上を目指すためには、競技団体が一枚岩となって競技者育成、指導者養成に努めなければならない。次回ロンドンオリンピックに向け、JOCスポーツアカデミー事業及び日本体育協会スポーツ指導者養成事業の今後の可能性について考察する。

コーディネーター 田嶋 幸三 (財)日本オリンピック委員会理事・NTC副本部長
パネリスト

- 星野 一朗 (財)日本体育協会指導者育成専門委員会委員
平野 一成 (財)日本オリンピック委員会NTC本部JOCエリートアカデミー事業ディレクター
八田 茂 (財)日本オリンピック委員会NTC本部JOCキャリアアカデミー事業ディレクター
木村 昌彦 (財)日本オリンピック委員会専任コーチングディレクター(柔道)
小林 隆 (財)日本オリンピック委員会専任コーチングディレクター(体操)
北原 勉 (財)日本オリンピック委員会専任コーチングディレクター(バレーボール)

●第2分科会(国際交流棟/国際会議室) 【 JISS 】

テーマ「僅かな差を生む何か～世界のオリンピックサポート戦略」

趣 旨

『エリートアスリートについて考える時、勝敗を分けるのは僅かな差である。このほんの僅かな差を生み出す“何か”を考えなければならない。』

(Scott Drawer, Research & Development Consultant, UK Sport)

本分科会では、2012年ロンドンオリンピックにおける我が国の国際競技力向上のための情報・医・科学サポート戦略について考える。

コーディネーター 和久貴洋 チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業ディレクター
パネリスト

- 杉本誠二、野口順子、紅碓英信、丹羽怜美、久保田潤、藤原 昌、四谷高広、
瀬尾幸也、千葉洋平、笹場育子、秋葉茂季、上村香久子、柴崎真木、関口愛子
(チーム「ニッポン」マルチ・サポート事業スタッフ)

●第3分科会(国際交流棟/第1ミーティングルーム) 【 JADA 】

テーマ「改訂された世界ドーピング防止規程(WADA code及び国際基準)の施行に向けて」

趣 旨

2009年1月1日より施行される新しい「世界ドーピング防止規程(WADA code)」について、規程及び国際基準の変更点を解説する。また、来年度以降本格稼働を始めるスポーツファーマシスト制度についても紹介する。

コーディネーター 浅川 伸 財団法人日本アンチ・ドーピング機構
パネリスト 赤間 高雄 早稲田大学スポーツ科学学術員
平井 千貴 財団法人日本アンチ・ドーピング機構

(2) ナショナルトレーニングセンター（NTC）見学

事前に申込みをいただいた方のみのお見学となりますので、ご注意ください。

9 参加申込みについて

参加希望者は、別紙の参加申し込みをFAXにて以下のとおり申し込み願います。

なお、参加受付は、情報交換会を含む全日程に参加できる方を優先とし、定数となり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。（なお、定数締め切りにより参加できない場合のみ、その旨事務局より連絡いたします。）

(1) 申込書送付先

① (財) 日本オリンピック委員会強化スタッフの方

(財) 日本オリンピック委員会強化部 **FAX:03-3481-2282** TEL:03-3481-2230

② (財) 日本体育協会公認スポーツ指導者の方 (①以外の方)

(財) 日本体育協会指導者育成課 **FAX:03-3481-2284** TEL:03-3481-2226

③ 国立スポーツ科学センターsports-i及びj-net会員の方

国立スポーツ科学センタースポーツ情報研究部

FAX:03-5963-0222 TEL:03-5963-0219

④ 上記以外の方

文部科学省競技スポーツ課

FAX:03-6734-3793 TEL:03-6734-2999

(2) 申し込み期限 平成20年11月21日(金) 必着

10 その他

本サミットは、(財)日本体育協会認定研修会となっておりますので、公認スポーツ指導者をお持ちの方、**「公認スポーツ指導者登録証」**をご持参ください。

<アクセス>

■ 小田急線

各駅停車約3分 参宮橋駅下車徒歩約7分

■ 地下鉄千代田線

代々木公園駅(C02)下車

(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

■ 京王バス

新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

